

拠出金名：国際連合食糧農業機関拠出金

国際機関等名	国際連合食料農業機関 (英文名称・略称) Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
最近3年間の我が国(農林水産省)支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成17年度	1,977,467	18,481		1\$ = 107 円	(2005年)	99.0
平成16年度	840,871	7,644		1\$ = 110 円	(2004年)	97.5
平成15年度	1,121,630	9,194		1\$ = 122 円	(2003年)	97.9
拠出上位5ヶ国 (2004-2005年度)(注1)				国際機関等の財政 (2004-2005年度決算)(注2)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)			
1位	EC	69,389	11.5	当該年度の収入	1,556,274	千ドル
2位	イタリア	52,771	8.8	当該年度の支出	1,543,106	千ドル
3位	イギリス	39,617	6.6	次年度への繰越	13,168	千ドル
4位	オランダ	38,988	6.5	会計検査機関名		
5位	国連開発グループ事務局サービス・サポート	35,539	5.9	UN Panel of External Auditors (現在の構成員の出身国:インド)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
FAOが提供する世界の食料・農業に関する情報・統計は、我が国における農業政策の策定に当たり不可欠なものといえる。また、FAOは、途上国支援の重要なチャンネルであり、さらに、食料・農業問題を取り扱う専門的かつ中立的な協議の場としても重要と考えている。よって、農林水産省は、FAOを極めて重要な機関として位置付けている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
現在、ディウフ事務局長のイニシアティブにより、FAOの改革に向けた取組が進められている。また、我が国は、主要先進国と連携しつつ、FAOの財政改善に関する提案を行っており、今後、財政委員会等の場において議論される予定。						
邦人職員数 うち幹部以上	38 人 うち 7 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめる 率	1399人 2.7%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
水産局長		野村 一郎		農林水産省出身者		
官房戦略企画部長		遠藤保雄		農林水産省出身者、平成18年11月就任		
日本事務所長		横山光弘		農林水産省出身者、平成18年10月就任		
林業局林産物課長		勝久彦二郎		農林水産省出身者		
管理・財政局情報コミュニケーション課長		花岡靖子				
農業局食料栄養部食品規格会議事務局長		宮城島一明				
アジア太平洋地域事務所次長(バンコク)		小沼廣幸				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
・昭和48(1973)年から拠出金による準専門家派遣制度を設け、現在、当省職員を年間3名派遣している。 ・FAOへの拠出金額の割に邦人職員数が少ない、いわゆるアンダーレブ問題について、①ハイレベル会議等の場においてFAO事務局に改善を要請するとともに、②FAOリクルートミッションの活用、③FAO信託基金事業による邦人専門家の派遣、④任期を終えた準専門家がFAO正規職員として引き						

(注1)任意拠出金。

(注2)FAO全体の分担金及び任意拠出金総額。